

安全報告書

2020年度版



会津鉄道株式会社

ご利用者はじめ地元の皆さまへ

弊社の鉄道事業に対して、日頃よりご利用とご理解をいただきまして誠にありがとうございます。

「安全報告書2020年度版」の発行に当たり、ごあいさつ申し上げます。

会津鉄道は、昭和62年7月に福島県と会津地方17市町村並びに団体、企業及び個人の出資により設立され、第三セクターの鉄道会社として開業しました。

開業以来、法令遵守の徹底及び安全輸送の確保に対して積極的に取り組むとともに、老朽設備の補修・更新を計画的に進め安全性の向上を図っております。

2019年度は、第6次経営健全化計画の初年度として「鉄道運転事故『ゼロ』」を目標に、計画の着実な実施を図ってまいりましたが、11月27日に線路脇の法面が崩壊し線路内に流入した土砂に列車が乗り上げて脱線、12月24日には線路の軌間拡大が原因と考えられる列車の脱線と2回の脱線事故を発生させてしまいました。幸い乗車されていたお客さまの怪我はありませんでしたが、大変申しわけなく思っております。2度とこのようなことの無いように更に設備を強化し、事故ゼロに向けて取り組んでまいります。

本報告書は、鉄道事業法第19条に基づき、弊社の輸送の安全確保のための取り組みや、安全の実態について自ら振り返るとともに広くご理解いただくために公表するものです。

皆さまの声を輸送の安全に取り入れるために、広くご意見をいただければ幸いです。

会津鉄道株式会社

代表取締役社長 大石 直

1 基本方針と安全目標

(1) 基本方針

弊社の基本方針の第一は、「鉄道の基本的使命である輸送の安全確保を完遂する」ことです。お客さまが安心してご利用いただけるよう安全に関する基本的な方針を次のように掲げ、全社員に周知・徹底しています。

安全基本方針

1. 輸送の安全に関する法令および関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行すること
2. 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めること
3. 職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のあるときは最も安全と思われる取扱いをすること
4. 事故、災害等が発生したときは、人命救助を最優先として行動し、2次災害を防止する等速やかに安全適切な処置をとること
5. 情報は漏れなく迅速、正確、確実に伝えること
6. 常に問題意識を持ち、問題解決のための必要な改善を行なうよう努めること

(2) 安全目標

2019年度は、列車脱線事故を2件発生させてしまいました。幸いお客さまの怪我は無かったものの、今後もお客さまが死傷する重大事故を発生させないために、2019年度の目標と同様になりますが、2020年度の安全目標を「鉄道運転事故の発生『ゼロ』」としました。

2020年度の安全目標

◇ 鉄道運転事故の発生『ゼロ』

- ・ お客さまが死傷する重大事故を発生させない
- ・ 事故に結びつくインシデント（事故の兆候）を発生させない

2 2019年度 鉄道運転事故等の発生状況

(1) 鉄道運転事故

2019年度は、列車事故（列車脱線事故）が2件（対前年度+2件）発生しました。列車事故は、湯野上温泉・塔のへつり駅間で法面が崩壊し線路内に流入した土砂に列車が乗り上げ脱線したもの、塔のへつり・弥五島駅間で線路の軌間が拡大し脱線したものの2件です。各事故の原因の特定については、鉄道事故調査委員会で調査中です。列車脱線事故は、2005年に会津田島駅構内の踏切で発生した圧雪による脱線以来です。



- ※ 列車事故 : 列車衝突事故、列車脱線事故、列車火災事故を指す
- ※ 鉄道物損事故 : 列車又は車両の運転により五百万円以上の物損を生じた事故
- ※ 鉄道人身障害事故 : 列車又は車両の運転により人の死傷を生じた事故
- ※ 踏切障害事故 : 踏切道において、列車または車両が道路を通行する人又は車両等と衝突し、又は接触した事故

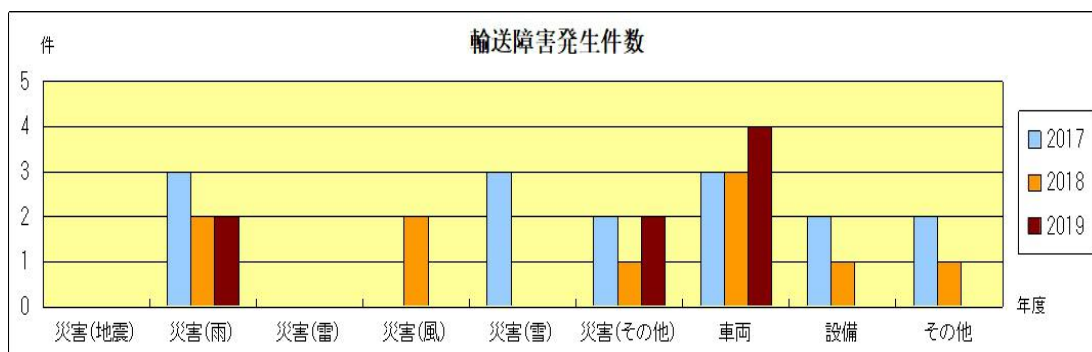
(2) インシデント（事故の兆候）

2019年度は、インシデントの発生はありませんでした。また、過去5年間においてもインシデントは発生しておりません。

(3) 輸送障害（30分以上の遅延や運休を伴う災害や故障、部外原因等）

2019年度は、輸送障害が8件（対前年度▲2件）と減少しました。内容は、雨や風などの災害に伴う障害が4件（対前年度▲1件）、車両故障が4件（対前年度+1件）、設備故障の発生はありませんでした。

台風19号により、大きな輸送障害（2日で77本運休）が発生しました。雪による障害はありませんでした。



(4) 行政指導等

2019年度は、塔のへつり・弥五島駅間の列車脱線事故に伴い、東北運輸局より安全輸送の確保に万全を期するよう警告書による警告を受けました。この事故に対して軌道整備等の緊急対策及び恒久対策を報告しております。

また、1月に東北運輸局による保安監査が実施され、安全管理体制の改善指示を受け安全管理体制を変更しております。

3 輸送の安全確保のための取組み

(1) 安全重点施策

「会津線」の歴史は古く、大正10年に着工され、西若松～会津田島は昭和9年、会津田島～会津高原尾瀬口は昭和28年に開通しました。土木構造物等は全体的に老朽化傾向にあると考えられ老朽設備の補修や改良等を計画的に進めています。

2019年度も前年に引き続き、国の鉄道施設総合安全対策事業補助金などの活用や福島県及び会津若松市、下郷町、南会津町の3市町のご支援をいただき、安全対策工事を実施しました。

特に2020年度は、列車脱線事故の恒久対策として、脱線箇所と類似箇所へのマクラギのPC化及び落石等の防護設備を設置し事故防止を図ります。

◇ 2019年度に実施した主な安全施策工事

- ・ レール交換 (七ヶ岳登山口～会津高原尾瀬口駅間の595m)
- ・ PCマクラギ交換 (七ヶ岳登山口～会津高原尾瀬口駅間の848本)
- ・ 木マクラギ交換 (西若松～会津高原尾瀬口駅間の341本)
- ・ 橋マクラギ交換 (湯野上温泉～塔のへつり駅間 湯の上橋りょうの127本)
- ・ 車両制御装置更新 (気動車AT-501, AT-551 2両)
- ・ 自動列車停止装置車上設備更新 (電車1編成)
- ・ 半径250m以下の曲線に対する緊急軌道整備 (8か所)

◇ 2020年度に予定している主な安全施策工事

- ・ レール交換 (芦ノ牧温泉～大川ダム公園駅間の400m、七ヶ岳登山口～会津高原尾瀬口駅間の400m)
- ・ PCマクラギ交換 (芦ノ牧温泉～会津高原尾瀬口駅間の2,158本)
- ・ 橋マクラギ交換 (湯野上温泉～塔のへつり駅間 第5大川橋りょうの96本)
- ・ 落石等防護設備 (湯野上温泉～塔のへつり駅間の57m)
- ・ 連動装置リレー等更新 (会津田島駅構内の112個)
- ・ 車両制御装置更新 (気動車AT-502, AT-552 2両)

(2) 社員の資質向上

① 他関係機関との合同訓練

運転関係係員の資質向上を図るため、計画的に訓練等を実施しています。2019年度は、毎月の指導訓練のほか次の訓練を実施しています。

- ・ 7月 信号故障時の取扱い訓練を実施（東武鉄道㈱・野岩鉄道㈱との3社合同）
- ・ 8月 信号設備取扱い訓練を実施（野岩鉄道と合同）
- ・ 9月 鉄道事故対応訓練（踏切事故及び列車脱線復旧訓練）を会津地域鉄道災害消防活動安全対策協議会と合同で実施（南会津町役場、会津方部各広域消防本部及び東北鉄道協会傘下の鉄道事業者9社、東日本旅客鉄道㈱仙台支社、東武鉄道㈱、野岩鉄道㈱が参加）
- ・ 9月 JR線内で会津鉄道車両が故障し走行不能になった際の救援訓練を実施（東日本旅客鉄道㈱仙台支社と合同）
- ・ 10月 IGRいわて銀河鉄道㈱主催の実車運転訓練に参加

《 9月 鉄道事故復旧訓練 》



《 9月 JRとの救援訓練 》



② 人材の育成

安全・安定輸送には、乗務員や技術系社員等の育成が欠かせません。このため、日本鉄道運転協会や東北鉄道協会等で実施する運転及び技術関係の研修会に参加して、知識及び技術力の向上を図っています。

◇ 2019年度に受講した主な研修・講習会

研修名	主催	系統	受講者数
運輸設備研修講座	(一社)日本鉄道運転協会	運輸	1
運輸安全マネジメント 内部監査員研修会	(一社)日本鉄道運転協会	運輸	1
運輸安全マネジメント リスク管理セミナー	東北運輸局	運輸	1
運輸安全マネジメント ガイドラインセミナー	東北運輸局	運輸	1
ヒューマンファクターの調査・分析法の基礎知識	(公財)鉄道総合技術研究所	運輸	1
運転法規研修講座	(一社)日本鉄道運転協会	運輸	1
電気回路図面(ツナギ図)の読み方講座	(一社)日本鉄道車両機械技術協会	車両	1
鉄道DC研究会技術講習会	新潟トランス(株)	車両	3

(3) 踏切における事故防止

春と秋に行われる全国交通安全運動時には、沿線小学校に踏切事故防止の啓蒙活動を行うとともに、車掌が車内放送により同運動期間中であること、踏切を渡るときは一旦停止を行い左右の安全確認を行うこと等と呼びかけています。

また、11月に降雪前に踏切事故防止訓練会を実施しました。南会津警察署、南会津町役場、自動車学校、沿線の運輸事業者の方々に参加していただき、踏切の遮断桿に閉じ込められた時の脱出方法や、列車を緊急停止させる方法等を実際に体験することにより、事故防止に役立てていただいております。

◀ 踏切事故防止訓練会 ▶



(4) ホームにおける旅客の転落防止に関する取組み

視覚障害者の方が、ホームから線路へ転落することを防ぐため、全駅のホームに点状ブロックの設置を進めています。また、視覚障害者の方が乗車される場合は、関係各所と連絡を取り合い、安全に乗車できるように対応しています。

(5) 委託会社・協力会社との安全に関する取組み

車両及び設備の点検・整備等を委託している会社や各種工事を施工している会社に、事故防止に係る教育や情報交換などを実施し事故防止を図っています。



(6) その他安全の取組み

①お客さまの信頼に応えるため

乗務員などの運転に係る社員は、定期的に運転適性検査を実施し資質を確認するとともに、出勤点呼及び出先点呼時にアルコール検知器を使用して酒気を帯びていないことを確認してから業務についています。

また、夜間のホームにおける障害防止を図るため、ホーム照明のLED化を順次進めています。

《アルコール検知器》



②安全総点検の実施

GW輸送、夏期輸送、年末年始輸送等の多客期には、社長及び各部課長が、現場を巡回して輸送の安全について確認しています。また、各期間中、異常時に素早く対応できるよう連絡体制の強化を図っています。

③ヒヤリハットの活用

社員等がヒヤリとしたことや危険を感じたことに対して適切に対応し、事故の発生を防止します。そのために社員とのコミュニケーションを大切にしています。

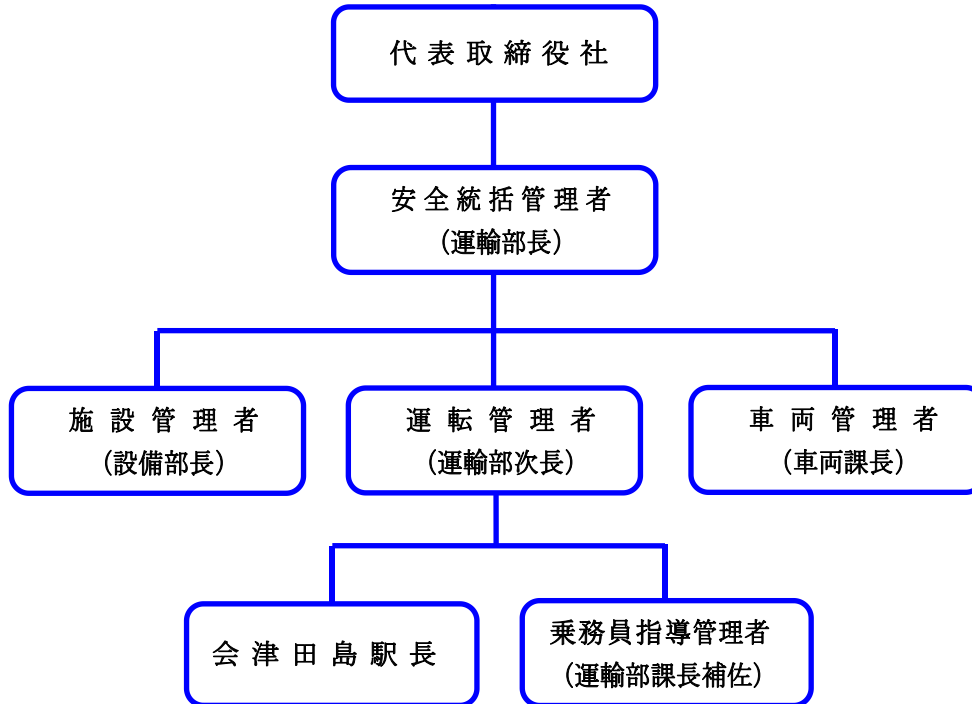
④テロ対策

テロを未然に防止するため、始発前の車内の点検、各駅及び車両基地の巡回を行い、異常の有無を確認しています。また、福島県公共交通関係機関テロ防止連絡協議会が主催する「公共交通機関におけるテロ対策総合訓練」に参加するとともにレベルに応じた対応ができるように、「鉄道テロ対応マニュアル」を策定しています。

4 安全管理体制

社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしています。

【 体制図 】



【 各管理者等の役割 】

役 職	役 割
代表取締役社長	輸送の安全の確保に関する最高責任者
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括管理する
運転管理者	安全統括管理者の指揮の下、列車の運行計画の設定、運転士及び車掌の資質の保持、他運転に関する業務を管理する
施設管理者	安全統括管理者の指揮の下、施設に関する業務を統括管理する
車両管理者	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する業務を統括管理する
乗務員指導管理者	運転管理者の指揮の下、運転士の指導・育成や資質の維持・向上に関する業務を行なう
会津田島駅長	運転管理者の指揮の下、駅運転取扱いに関する指導・育成や資質の維持・向上業務を行なう

5 地元の皆様との連携とお願い

(1) 会津地域のチビっ子のためのトロッコ列車試乗会を実施しています。

弊社では、支援をいただいている住民の皆様へ感謝をこめて、沿線の幼稚園児等を対象に毎年試乗会を実施しております。2019年度は24団体675人の方々をご招待いたしました。



(2) 踏切の警報機が鳴り始めたら、踏切に入らないでください。

踏切が鳴り始めたら列車が接近しています。大変危険ですので、列車の通過を待つて安全を確かめてからお渡りください。

万が一、自動車が踏切内に閉じ込められたときは、自動車を前進させ遮断桿を押し上げて脱出してください。

(3) 線路のそばでは遊ばないでください。

列車は、急には止まりません。運転士が危ないと判断し緊急停止手配をとっても、止まるまで400m程度かかる場合があります。

危険ですので線路のそばでは絶対に遊ばないでください。もし、遊んでいるお子様を見かけましたら、ご注意くださいようお願いいたします。

6 ご連絡先

安全報告書のご感想、当社の安全への取組みに対するご意見は、下記にお願いいたします。

会津鉄道株式会社

〒965-0853 福島県会津若松市材木町一丁目3-20

TEL 0242-28-5885 Fax 0242-26-9730